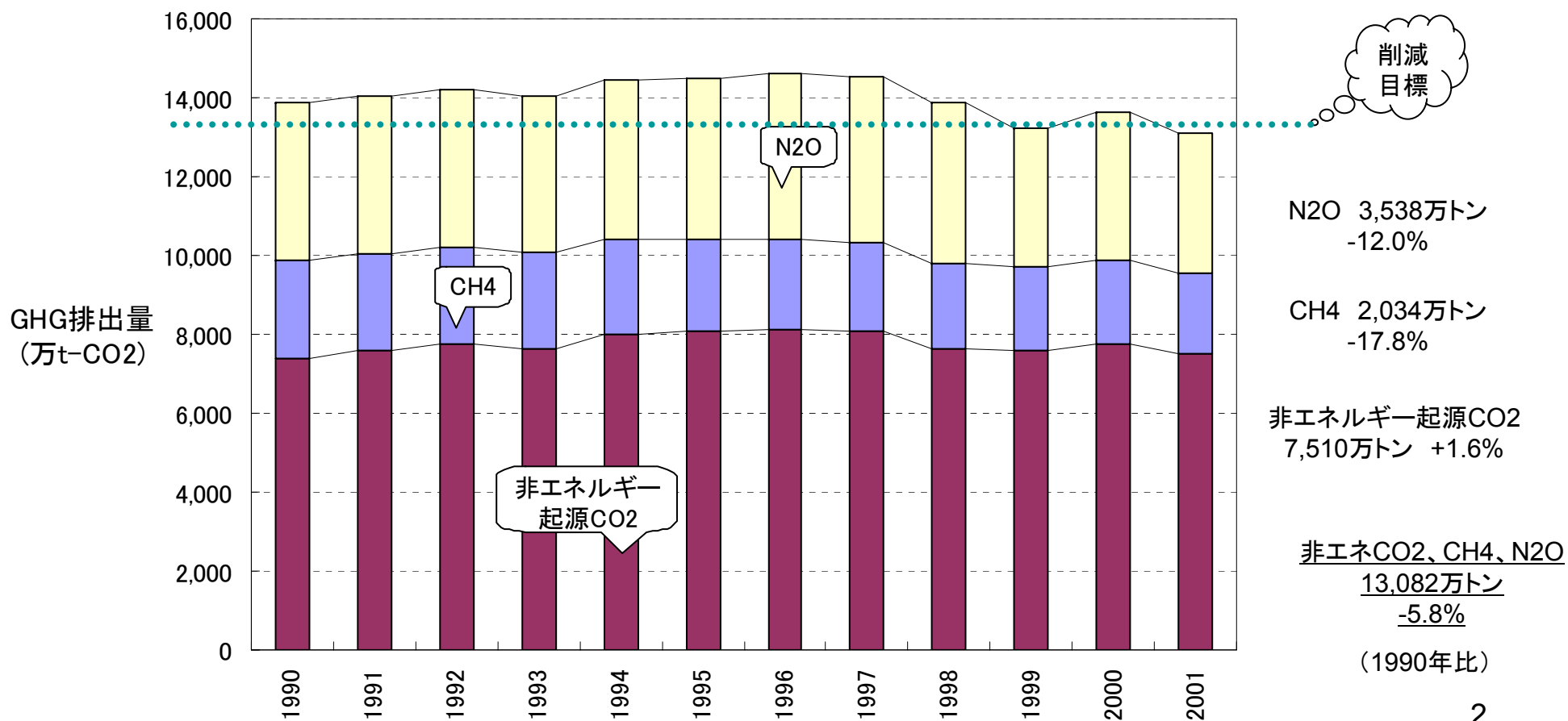


エネルギー起源以外のCO₂, CH₄, N₂Oの 現在までの排出量及び関連データについて

1. 温室効果ガス排出量の推移

(1) 大綱の目標の達成状況

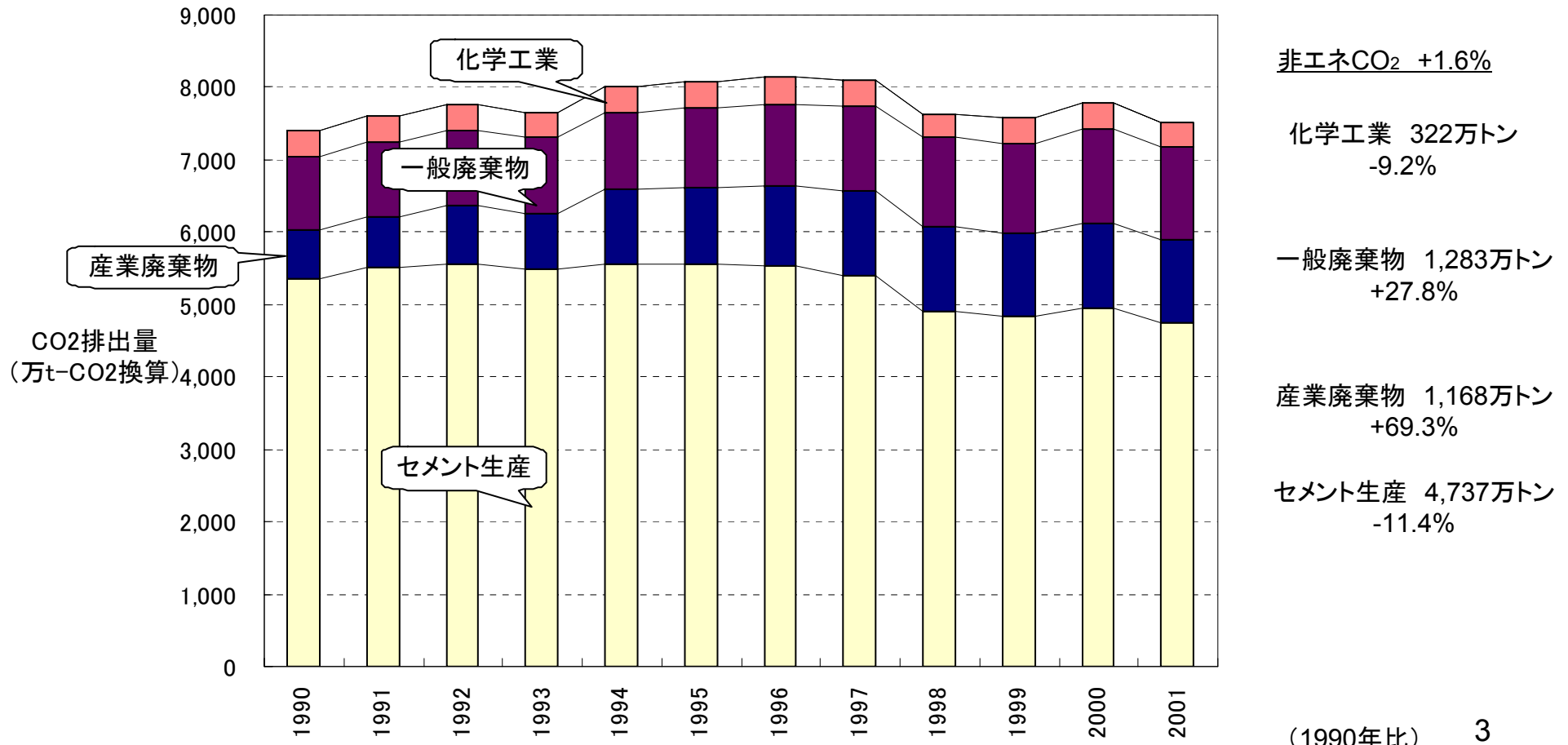
○ セメントの生産や廃棄物の焼却時に排出される非エネルギー起源CO₂と、CH₄並びにN₂Oを合計した排出量は減少傾向にある。



1. 温室効果ガス排出量の推移

(1) 非エネルギー起源CO₂の排出量の内訳

- 非エネルギー起源CO₂とは、すべてのCO₂排出量から燃料・電力の消費に伴う分を除いたものを指し、その内訳は以下に示すとおり、2001年度においてセメントの製造からの排出が約6割を占める。
- セメントの生産量の減少などに伴い、工業プロセスからの排出量が減少する一方、廃棄物の焼却量が増加したため、1990年と比べて非エネルギー起源CO₂は微増。



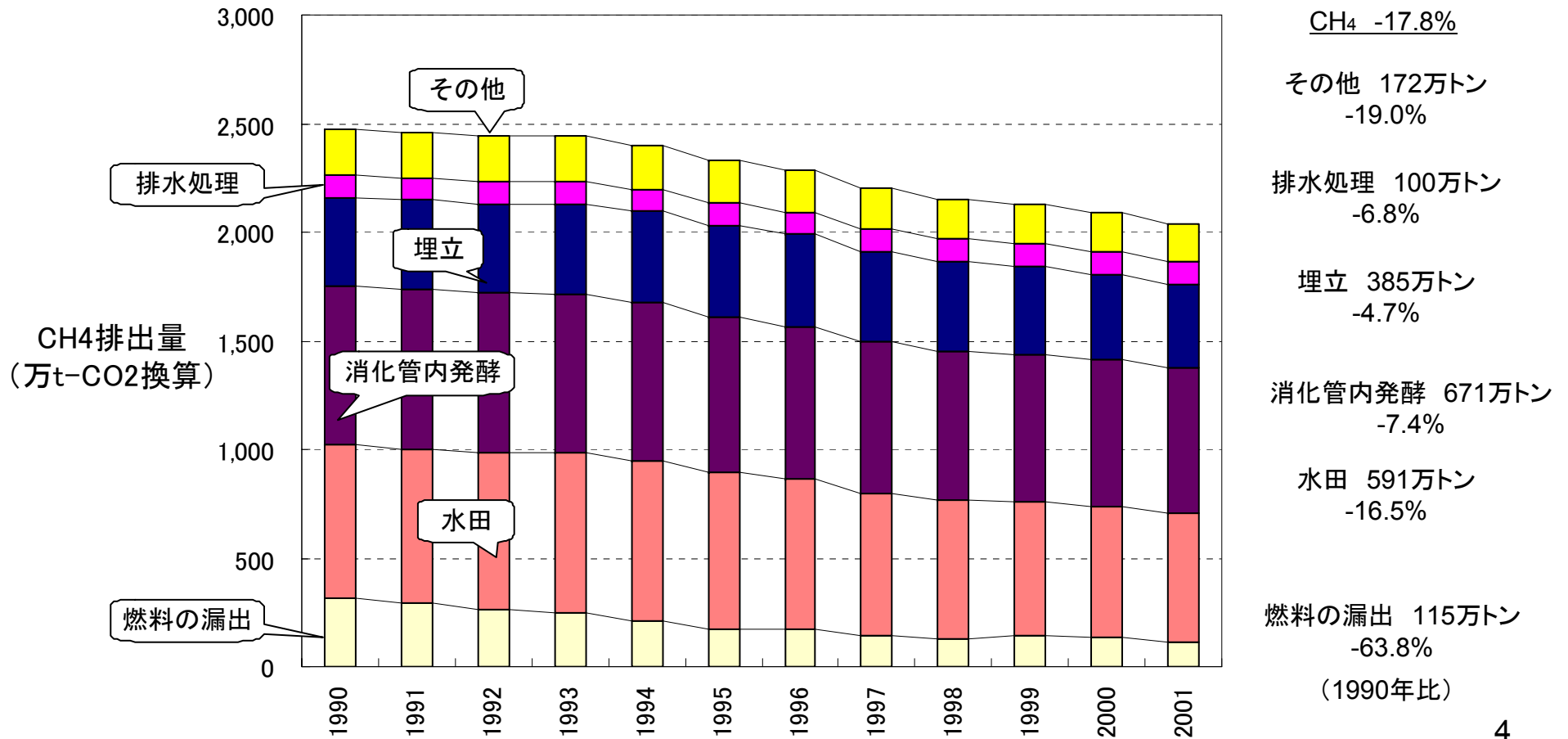
(1990年比) 3

<出典>温室効果ガス排出・吸収目録より算定

1. 温室効果ガス排出量の推移

(2) CH₄の排出量の内訳

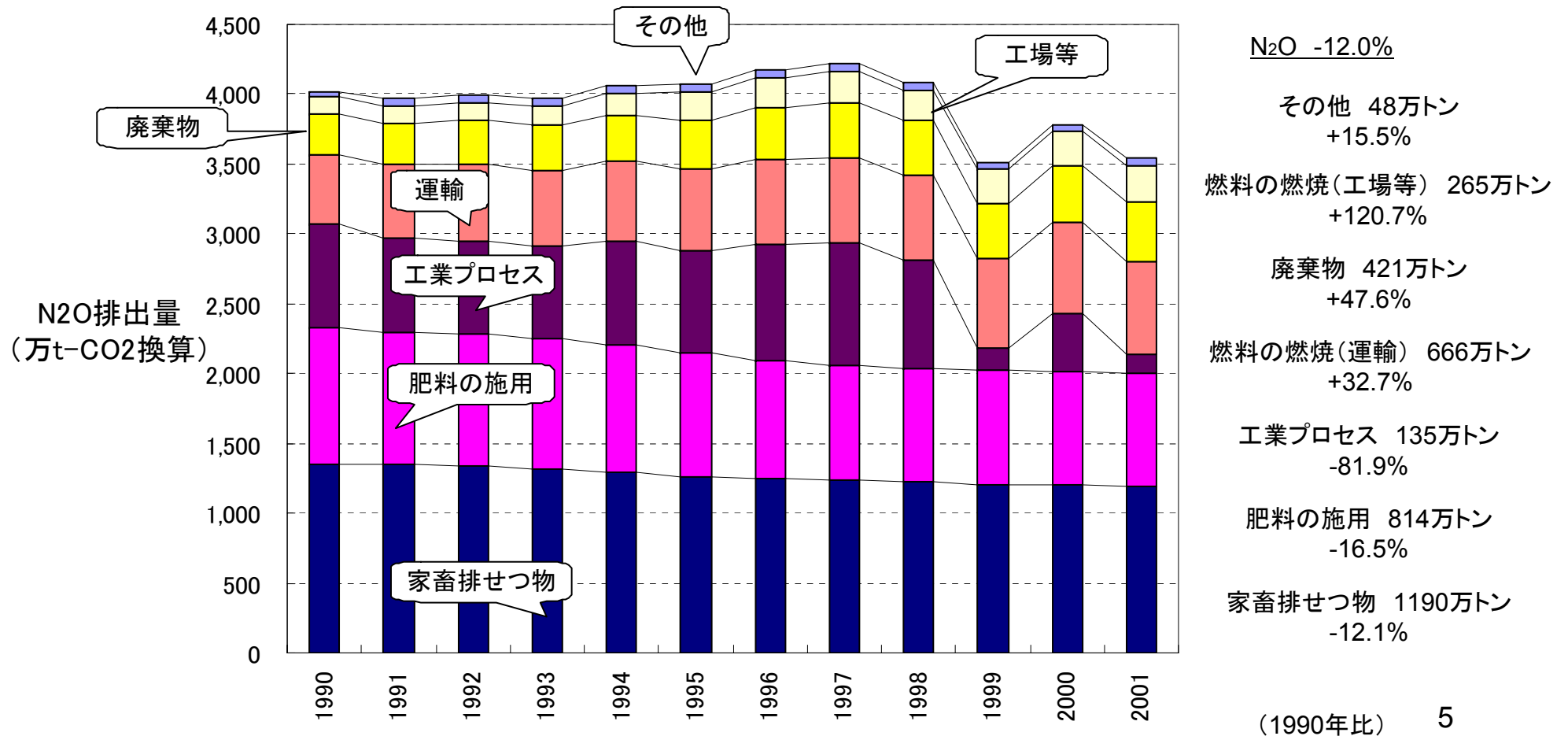
- 2001年度のCH₄の排出量を区分別に見ると、家畜の消化管における発酵、水田からの排出、及び埋立処分場からの排出が約8割を占める。
- 石炭生産量の減少と水田面積の減少により、燃料の漏出と水田からの排出量が減少しており、CH₄の排出量は減少傾向。



1. 温室効果ガス排出量の推移

(3) N₂Oの排出量の内訳

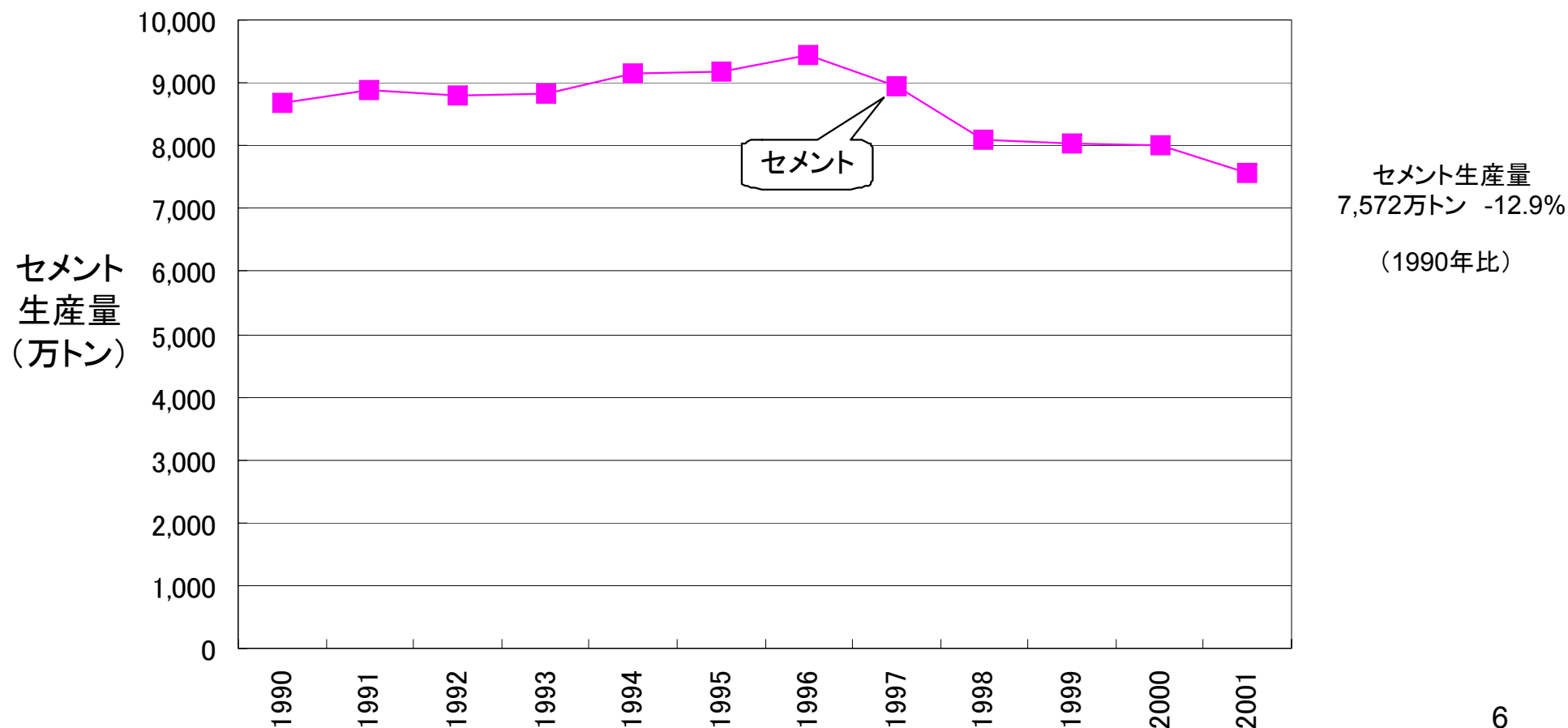
- 2001年度のN₂Oの排出量を区分別に見ると、家畜の排せつ物の処理及び農用地への合成肥料と家畜排せつ物の施肥からの排出が約6割を占める。
- アジピン酸製造過程におけるN₂O分解装置の設置、農用地面積の減少、家畜飼養頭数の減少により、工業プロセスや農業分野からの排出量が減少しており、N₂Oの排出量は減少傾向。



2. 温室効果ガス排出量の増減要因

(1) セメント生産量の減少

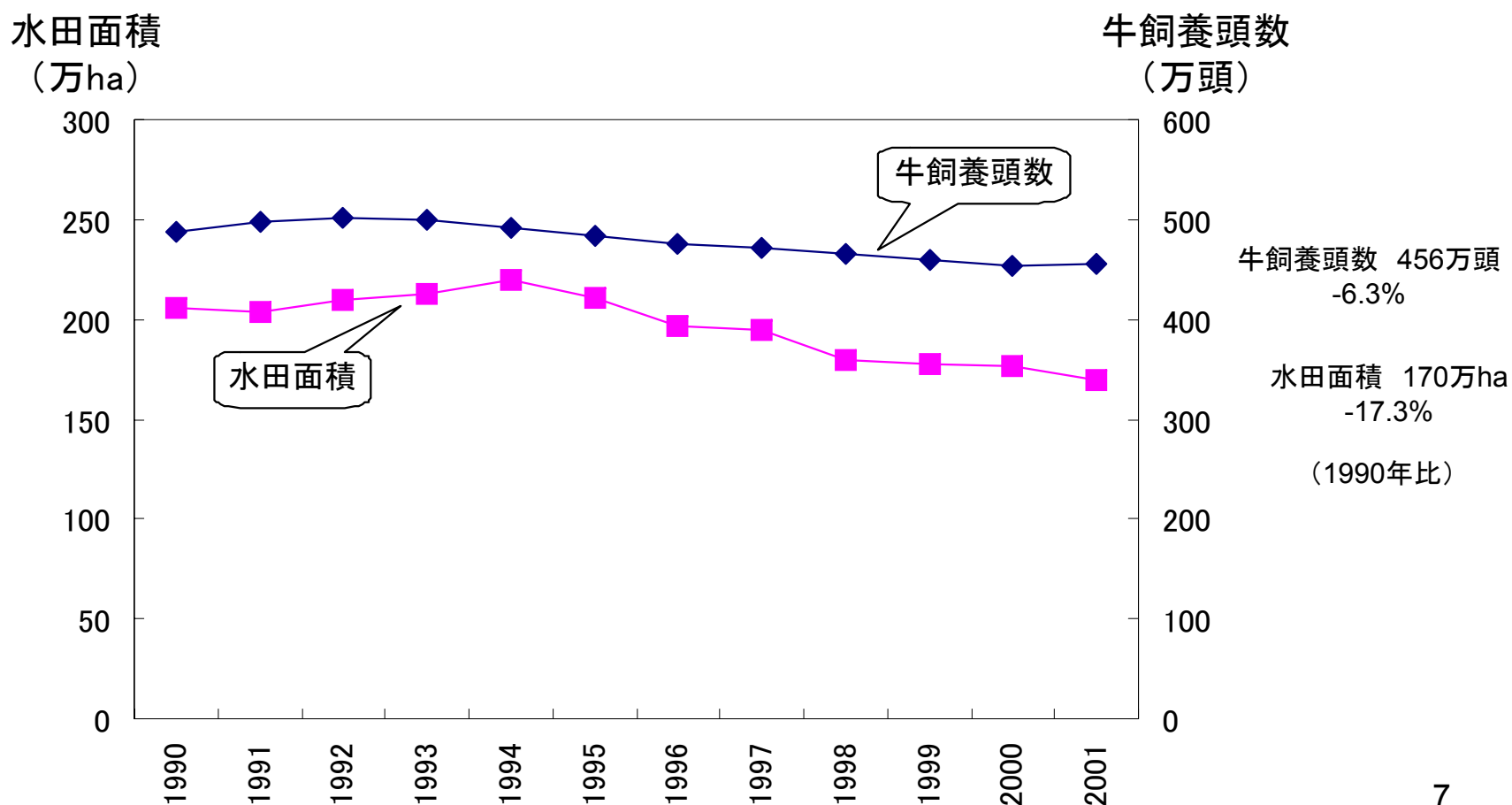
○ 非エネルギー起源のCO₂排出量に影響を与えるセメント生産量は、1996年にピークを迎えた後、減少傾向にある。



2. 温室効果ガス排出量の増減要因

(2) 農耕地面積、家畜飼養頭数の減少

○ CH₄、N₂Oの排出量に影響を与える農耕地面積と、家畜由来の排出のうち大半を占める牛の飼養頭数は、農林業生産指数の低下（1990-2001年において15.2ポイント減少）に伴い、減少傾向にある。



<出典>農林水産省「耕地及び作付面積統計」「畜産統計」より推計

2. 温室効果ガス排出量の増減要因

(3) 廃棄物焼却量の増加

○ 主にCO₂の排出量に影響を与える一般廃棄物の廃プラスチックと、産業廃棄物の廃油と廃プラスチックの焼却量は1990年に比べて増加しているが、産業廃棄物については近年横ばいの傾向。

